

お客さま各位

2016年11月10日

株式会社 GCI アセット・マネジメント

米国大統領選挙を受けた市場環境および GCI エンダウメントファンドの運用状況について

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

11月9日に行われた米国大統領選挙において、事前の予想に反してドナルド・トランプ氏が次期大統領として選出されました。これを受けたグローバル金融市場の動向と、弊社ファンドの運用状況について、下記の通りご報告いたします。

1. 米国大統領選挙の結果とグローバル金融市場の動向について

米国大統領選挙では、優勢と目された対立候補のヒラリー・クリントン氏を破り、トランプ氏が勝利いたしました。大方の予想を覆す結果であったことから、各国市場は大きく変動しました。9日のアジア時間にトランプ氏の優勢が徐々に明らかになるとともに、上昇して始まっていたアジアの各国市場は大幅な下落に転じ、日経平均株価は一時1,000円超の下げを記録しました。しかし、その後取引の始まった欧州市場は落ち着いた値動きとなり、NY時間には上昇に転じました。中心となった米国市場は、トランプ氏が歳出拡大で経済成長を促すとの見方から上昇し、ダウ平均株価が一時最高値を付けるなど、アジア市場での懸念とは正反対の値動きとなりました。

為替市場においてもアジア時間にはドル安が進行し、ドル円は一時101円台前半を付けましたが、その後ドルは急回復し、前日比でドル高の水準となりました。

指標名	指標値 (平成28年11月9日)	前日比 (平成28年11月8日比)	変化率
日経平均株価指数	16,251.54	-919.84	-5.36%
NYダウ工業株30種指数	18,589.69	+256.95	+1.40%
MSCIヨーロッパ指数	115.05	+1.63	+1.44%
MSCI World 指数	1,696.46	+4.72	+0.28%
ドル/円為替	105.67	+0.51	+0.48%
ユーロ/ドル為替	1.091	-0.116	-1.05%
GCIエンダウメントファンド(成長型)	10,596	+18	+0.17%
GCIエンダウメントファンド(安定型)	10,499	+31	+0.30%

(注) Bloomberg のデータを元に、GCI アセット・マネジメントが作成。

2. 弊社ファンドの運用状況につきまして

弊社が運用する GCI エンダウメントファンド(成長型/安定型)は、米国名門大学基金が実践してきた運用手法を模範とする長期かつグローバル分散投資を行っておりますが、基本資産配分として成長型では 10%、安定型では 5%を日本株式へ振り向けることとしていることから、日本株式市場下落の影響を受けました。

日本時間の夜間に取引の行われる欧州・米国市場の動向は、上記の基準価額には反映されておられません。欧州・米国市場ともに株式市場が上昇しておりますが、債券市場は下落しており、当ファンドの基準価額に与える影響は限定的となる見込みです。

3. 今後の見通し

6月の英国 EU 離脱に続き、米国大統領選挙においても市場予想を覆す結果となりました。しかしながら、アジア市場で見られた過度な懸念は当日中に後退し、米国市場は逆にトランプ氏の経済政策への期待から上昇となりました。

一夜開けて市場は総じて楽観ムードとなっておりますが、トランプ氏の具体的な政策は未知数であり、先行きに関しては警戒も必要であると考えています。

当ファンドは、株式・債券・オルタナティブ投資をコア 3 資産とする基本資産配分を維持しながら、シンプルかつ効率的に一定のリスクをとり続けるというブレのない運用姿勢に加え、円資産のリスク・リターン効率化を図るため、為替リスクを原則としてヘッジしていることが大きな特徴です。今回の米国大統領選挙では為替市場にも激しい変動が見られましたが、ヘッジによってその影響は回避しています。引き続き、市場動向に振り回されたり一喜一憂したりすることなく、オルタナティブ戦略を活用した分散ポートフォリオを堅持し、円資産のリスク・リターンに配慮した長期運用を継続してまいります。

以上

文責：GCI エンダウメントファンド・運用チーム

代表取締役 CEO 山内 英貴

インベストメント・マネージャー 上野 慎一郎